

会議記録

令和4年8月29日

- 会議名 丹波市市島地域市立小学校統合準備委員会
第6回 吉見・鴨庄・三輪地域部会
- 日時 令和4年8月26日（金）19:30～21:00
- 場所 ライフピアいちじま 研修室
- 出席者 委員：坂谷高義、木寺章、淵上利美、由良英樹、加藤宏生、長井勇人、
波多野真由奈、坂谷幸久、若林久美子、足立圭造、内田順子、中
澤正樹
教育総務課：船越係長、畑中
学校教育課：谷川副課長

●協議事項

①1校統合について

②三輪小学校の統合の時期について

事務局より、1校統合で要する検討項目の説明や、前回の統合準備委員会や他の部会で出た意見を資料で説明し、1校統合と三輪小学校の統合の時期について委員の意見を伺った。

【意見等】

- ・美和地区のPTA役員やこども園保護者、地域の方が集まった意見交換の中では、1校に統合してほしいという意見が多かったが、実際に実現するのは難しいのではないかと感じているため、小学校やこども園の保護者からは「できるだけ早く」という強い意見が寄せられていることも考慮し、令和12年度を待たずにできるだけ早く統合を実施してほしい。また、令和12年度以降という表現も不確定なので不安に感じている。
- ・令和12年度以降になると、かなり先の話に感じてしまうので、美和地域の「できるだけ早く」という意見を叶えてあげてほしい。
- ・元々は令和8年度に統合が可能という見込であったので、令和12年度よりは早く統合をしてほしいと考えている。増築等で費用がかかってしまうことも理解しているので、三輪小学校の統合を早める何かいい提案などがあれば教えてほしい。
- 1校統合を実施する場合は新校舎の建設が必要となるため、段階的統合の時点での投資は難しい。昨年度までの委員の中でも施設整備に予算を投入するのは避けるべきという意見が多かった。また、施設改修を実施する場合は設計や工事で最低でも2～3年は要する。他の小学校でも大規模改修を要するところがあり、工事の実施が同年度に集中しないように調整が必要になってくる。（事務局）
- ・令和12年度以降まで待てば校舎改修なしで入れるという話であるが、考えるべきは費用のことではなく、子どものために何をできるかではないか。少しでも早く美和地域の願いを叶えてあげるべきである。
- 改修費用などの予算だけで考えているのではなく、人数の増減や35人学級の適用が始まり、学級数見込みが微妙な年代ができたことなどの諸事情により、三輪小学校統合の前提が変わってしまったため、現在改めて検討いただいていることをご理解いただきたい。（事務局）
- ・何もないところに校舎を建てるのではなく、現在ある校舎を使うので、少し費用をかけ

ればなんとかなるのではないか。

- 以前、吉見小学校は狭いということは伝えたが、全部で9クラスとなる場合は教室が足りないのに加え、昔と違い、不登校や生活指導事案対応などの教室が必要になるため、教室数については非常に心配している。また、市島地域の小学校の教室は他の地域と比べて狭く、鴨庄小学校と合同授業を実施した際に3年生は30人集まったが、教室が一杯であった。実際に教室を利用した際に支障がないか等、教育の質についても検討しないといけない。
- ・竹田・前山地域部会では一旦1校統合を凍結するという結論を出されたが、将来の市島地域の教育環境を良くするという視点で考える必要があり、最終的には1校にするという方向に持っていくことが大切だと思っている。
- 最終的に1校にするのは賛成だが、場所や時期などの具体的な事項を決めるのはもう少し先でいいと思っている。
- ・最終的には全体会での話し合いで決めないといけない事項なので、1校統合が難しいという結論になった場合は三輪小学校が吉見小学校と鴨庄小学校に統合できる形にするのがよい。
- ・三輪小学校が吉見小学校校舎に統合で行く場合に教室数が足りないのであれば、最初に余裕のある大きな校舎を建てておいて、後から竹田・前山地域の児童が入るといった形はどうか。
- 1校になるかどうか決まっていない段階で大きい校舎を建てるのは難しく、将来的に児童数が減って校舎が大きすぎたという結果にもなりかねない。(事務局)
- ・学校統合を短期間で繰り返すことは子どもたちや地域の人たちにとって負担が大きいため、竹田・前山地域部会の委員が言われることも納得できる。幼小連携などこども園単位の教育環境を大切にするのであれば、施設整備を行い統合して、1校にするのはある程度先という形にするのもよいと思う。また、1校の話を開くのは複式学級が生じたときではなく、市島地域として1つの学校にしていこうという思いが出てきたときにこのような会を立ち上げるべきだと考える。
- ・美和地域としては、見通しが立たない令和12年度「以降」という表現について不安に感じている。個別協議でも、少しでも早く、多くの人数の中で学ばせてあげたいという意見が寄せられていた。
- ・将来的に1校になるというのは賛成だが、今後も今のような形で統合の場所や時期などの具体的な事項を明確に決定しようとするのは現実的ではないと思う。
- ・例としてあるような段階的統合後に複式学級が生じた場合に1校統合を検討するという形で決定されれば、現在決定している統合（吉見小・鴨庄小と竹田小と前山小）が完了した後、複式が生じるのはかなり先の話になるので、吉見小学校を改修して三輪小学校の統合早めることができるのではないか。
- 今後の児童数が確かではないので、断言することはできないが、1校統合が未定の状態よりは検討はしやすくなる。(事務局)
- ・美和地域が統合をしたいと考えている理由に、「幼小連携」もあるはずで、教育委員会でもスタートアッププログラムも作って取り組まれている。人数や校舎の話だけではなく、幼小連携をもっと深めて特色ある教育を行う必要性や教育の質について考えていく必要がある。それらについて、吉見小学校と鴨庄小学校の統合後も、3地域で検討していかないといけないと考えている。
- ・三輪小学校が吉見小学校と鴨庄小学校と統合した場合、アフタースクールは1校区につき1カ所の方針に基づき、現在の吉見アフタースクールに通うことになっても問題はないか。(事務局)
- 保護者からは、「せっかく学校が統合したのであれば、アフタースクールも一緒に通わせ

てあげたい。」という意見や、「アフタースクールまでの距離が遠くなるので、送り迎えの時間を延長するなどの対応をしてほしい。」という意見が寄せられたが、吉見アフターに通うことについては、概ね了承はしてもらえると考えている。

【決定事項】

1校統合については、地域部会としての結論は出さずに、次回の全体会の場で協議を行う。三輪小学校の統合の時期については、全体会の1校統合に関する協議結果を受け、次回の地域部会で検討する。

●その他

- ・次回日程 未定
ライフピアいちじま 研修室